

ページをめくりやすくする 3ポイント。

1

前面と背面の高低差

前後に高低差を設けて開口部を広げました。ページめくりのとき、本の右下は、高い背面部分にいつも乗せておくように使います。少し慣れれば、ほとんどストレスなくページめくりできます。



2

底面積の縮小

底面の両端をカットしました。ブックハンドを回転したとき本をはさむ面積が大きくなって、取り回ししやすくなっています。



3

なめらかな端面

このわずかな開口部の広がり、本のはさみ込みをスムーズにし、ページめくりを楽にします。

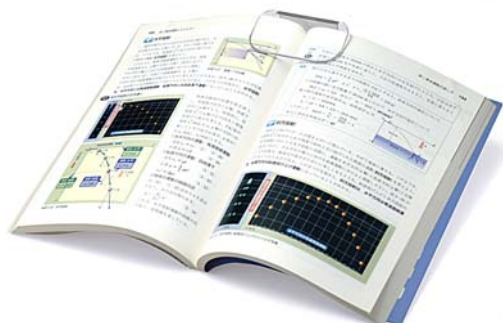


小さ過ぎる 3つの特徴。

1

小さ過ぎ。

文庫本より大きなサイズの本も開いておけます。下部にセットすると倒れてしまいますので、本の上部にセットしてください。浅い角度で立てられます。一般のブックスタンドに比べ、たいへん小さいため、安定性に劣ります。



2

本が汚れにくい。

通常は手でブックハンドをつかみ、また、ブックスタンドにもなるため、本が手垢で汚れにくく、図書室などの備品に適します。



3

グリップ力。

本体はポリカーボネート製。靱性(粘り)が高く、弾力があります。強くつかめば、本をしっかりホールドできます。逆さにしても落下させません。

